

フランス語発音モジュール「理論編」の開発

杉山 香織
東京外国語大学博士前期課程
川口 裕司
東京外国語大学外国語学部教授

1. はじめに

本稿はフランス語発音モジュールの「実践編」に続いて開発された，発音モジュール「理論編」の第1版がどのような基礎研究の上に作成され，どのようなコンテンツであるかを報告するものである。まず最初に，発音モジュールの「実践編」と「理論編」の関係について述べ，次に「理論編」の構成について触れ，最後に「理論編」第1版のサンプルを掲げる。ここにあげた第1版の内容は確定的なものではなく，ウェブ化の過程を通して，あるいは試作版を授業等で利用する中で改良される余地が充分にある。

2. 発音モジュールの「実践編」と「理論編」の関連性

東京外国語大学大学院の21世紀COEプログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」が2002年に開発した発音モジュール(Pronunciation Module)の「実践編」は，次のコンセプトによって製作された。¹

- (1) コミュニカティブな言語運用のための発音練習用教材とする。
発音練習を目的とした用例のための用例を並べがちにしたミニマルペアにかかわらず，基礎語彙あるいは日常使われるフレーズ，文などの中から例文を選び，実用的なコミュニケーションに役立つ発音教材を目指す。またできるだけ自習用に耐えうる教材を目指す。
- (2) 大学生以外の一般の学習者ニーズにも対応する。
大学の授業のみならず，高校生や一般の学習者も対象とする。
- (3) ユーザーフレンドリーな教材を目指す。
学習者に音声学の知識があることを前提としない平易な説明を心がける。専門用語，発音記号は原則として使用しない。
- (4) 目標設定を行う。
この教材で学習したら何が達成できるかという目標を明確にする。
- (5) e-learning教材の利点を活かした斬新で面白い設計を行う。
紙の教材では実現できない e-learning教材ならではの利点を活かし，練習問題，解説などの提示方法を工夫する。
- (6) 他モジュール（会話モジュール，文法モジュール，語彙モジュール）との関連を考慮する。
将来的に他のモジュールとの関連が図れるようにすることを念頭において発音モジュールを開発する。

今回，発音モジュールの「理論編」を開発するにあたり，まずは市販の発音教材の内容を詳しく比較検討し，教材の傾向を知ることにした。市販の発音教材の分析では，比較的最近出版された以下のフランス語で書かれた教材2冊，日本語で書かれた教材3冊，計5冊の教材を使用した。

A.阿南婦美代・GUIMBRETIERE, Elisabeth, 『コミュニケーションのためのフランス語発音法』，駿河台出版社，2001年。

¹ 木越勉，「TUFSPモジュール最終設計案」，『言語情報学研究報告1 TUFSP言語モジュール』，21世紀COEプログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」，東京外国語大学大学院地域文化研究科，2004，pp.56-57.

- B.小島慶一，『やさしいフランス語の発音』，語研，2002 年。
 C.松本悦治監修・福田芳男著，『アテネフランセフランス語の発音』，早美出版，2001 年。
 D. ABRY, Dominique, CHALARON, Marie-Laure, *Phonétique 350 exercices*, HACHETTE. F.L.E., 1998.
 E. CHARLIAC, Lucile, MOTRON, Annie-claude, *Phonétique progressive du Français avec 600 exercices*, CLE international, 2001.

市販教材の分析は 2004 年 5 月から 10 月にかけて行われた。それぞれの教材の内容を分類し，表計算ソフトを用いてデータベース化を行い，市販教材に共通している学習項目とそれぞれの教材に固有の項目などが分けられた。また各教材での発音項目の提示の仕方と説明などに関しても，教材を横並びにして比較検討した。以下に『やさしいフランス語の発音』に出てくる母音の項目を表計算ソフトで分類した例をあげておく。

				やさしいフランス語の発音			
	口の形	文字の規則		舌の位置	広狭の区別	他の音との比較	
[y] p.44	○	u, û		前部は硬口蓋 狭		[i] [u] [ø] [œ]	
[i] p.44	○	y		前部は硬口蓋 狭		[y] [u] [e]	
[u] p.44	○	ou, où, oû		後部は硬口蓋 狭		[i] [y] [o] [ɔ]	
/œ/ p.50					○		
[ø] p.50		eu, œu		前部は硬口蓋 半狭		[œ] [y]	
[œ] p.50		eu, œu		前部は硬口蓋 半広		[ø] [y]	
[ʷ] p.72		u + 母音					
[w] p.72		oi, ou + 母音					
[j] p.72		i + 母音, -il, eil, ail, ay + 母音					
		euil, ouil, ien					
/E/ p.46					○		
[e] p.46	○	e + 発音されない 1 子音		前部は硬口蓋 半狭		[i] [ɛ]	
		é					
[ɛ] p.46	○	ex- e + 発音する子音		前部は硬口蓋 半広		[i] [e]	
		-ell, -ett, -err, -el, -et, ê, è, ë					
		e + 発音されない 2 子音					
		ai, â, ei					
/E/ (nasal) p.53					○		
[ɛ] (nasal) p.53	×	in, im, ain, aim, ein, eim, yn, ym				[a] [ɔ] [œ] (nasal)	
[œ] (nasal) p.53	×	un, um				[a] [ɔ] [ɛ] (nasal)	
/O/ p.48					○		
[o] p.48		au, eau		後部は硬口蓋 狭		[u] [ɔ]	
[ɔ] p.48				後部は硬口蓋 狭		[u] [o]	
[ɔ] (nasal) p.53	×	on, om					
/A/ p.52					○	[œ] [a] [ɛ] (nasal)	
[a] p.52				前寄り 広		[ɑ]	

[ɑ] p.52				後寄り	広		[a]
/a/ (nasal) p.53	×	an,am,en,em					[œ] [ɔ] [ɛ] (nasal)

分析の結果、単音の説明では、様々な共通の傾向が見つかった。まず、全てにおいて IPA の使用が認められた。そして、調音位置の図表と解説、音声用語の使用、綴りと発音の規則の説明、対応する音との比較が、ほとんどの教材に見られた。また、プロソディの説明についても、音節の区切り方の説明、“da da da”などを使ったリズムの表示、リズムグループの詳しい説明、イントネーションカーブの表示などが、共通点としてあげられた。

こうした市販の発音教材の比較分析をもとに、発音モジュール「理論編」は、次の点に焦点を当てて開発された。

- ① 基本的に、コミュニケーション的な発音教材とする。
しかし、聴解力を鍛えるために、基礎用語でないものも含むミニマルペアも扱う。プロソディの単元では、実用的なコミュニケーションに役立つ例文を選ぶ。また、教室用教材として使うことを前提にするが、「実践編」を経た人、フランス語の知識のある人の更なるステップアップにつながるような自習教材を目指す。
- ② 大学生や、フランス語の既習者に対応する。
大学授業用を前提とする。
- ③ ユーザーフレンドリーな教材を目指す。
しかし、同時に学習者が音声学の知識も学べるように、専門用語、発音記号を使用する。
- ④ 単元別に学習できるようにする。
一つ一つ、フランス語の音声を学べるような、積み上げ式の教材にする。
- ⑤ e-learning 教材の利点を活かした斬新で面白い設計はそのまま残す。
練習問題、解説などの提示方法を工夫する。例えば、IPA モジュール²とリンクして、調音位置を視覚と音声で確認できるようにしたり、会話モジュールとリンクしてイントネーションの単元ではピッチ曲線が確認できるようにする。
- ⑥ 他モジュール（会話モジュール、³文法モジュール、語彙モジュール⁴）との関連を考慮し、インタラクションを図る。
すでに完成されている会話モジュールを基盤におき、そこで扱われている単語、文を極力選択するようにする。
- ⑦ モジュール内の全言語で構成を統一できるような枠組みをつくる。

² 松井健吾、宮下和大、「IPA モジュール開発」、『言語情報学研究報告 1 TUFs 言語モジュール』、21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」、東京外国語大学大学院地域文化研究科、2004, pp.21-34.

³ 林俊成、結城健太郎、阿部一哉、長沼君主、「TUFs 多言語 e-learning システム会話教材開発」、『言語情報学研究報告 1 TUFs 言語モジュール』、21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」、東京外国語大学大学院地域文化研究科、2004, pp.115-121.

⁴ 川口裕司、「TUFs 言語モジュール」、「文法・語彙モジュールの開発に向けて」、『言語情報学研究報告 1 TUFs 言語モジュール』、21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」、東京外国語大学大学院地域文化研究科、2004, pp.15-20, 123-126.

このように、発音モジュール「理論編」では、「実践編」の長所、独自性を活かしつつも、より理論的な記述を導入し、よりアカデミックな教材を目指すことで、「実践編」から「理論編」へ学習者が学習プロセスを移行できることを目標に設定した。このことによって、「理論編」は「実践編」を学んだ学習者が、将来的にその言語の発音分析や音声研究を行うための橋渡しとなるような、より高度な発音教材として位置づけられる。

3. 発音モジュール「理論編」の構成

発音モジュール「理論編」の構成は、モジュール内の全言語に対応できるような枠組みとした。各言語で、重点の置かれる項目は異なるので、追加部分、削除部分がでてくることは充分考えられるが、フランス語の枠組みは以下のように設定した。

1. 言語概説

学習者に有益な言語概説を簡単にまとめる。⁵

2. イントネーション、リズム、アクセントの基礎

まず、コミュニケーション教材であるために、単語レベルから始めるのではなく、言語の大きな単位のプロソディから扱うことにする。しかし、この段階では文字は扱わず音声のみとし、言語の音の特徴をつかめるようにする。

3. 個々の音の習得（母音と子音）

3. 1. 母音

3. 2. 子音

最小単位の音韻レベルとし、個々の音へ具体的にフォーカスを当てる。ここで文字をはじめて扱い、綴りと発音の説明を行う。書き取り、読み取りの力をつけることを目標とする。

4. リズム、アクセントの応用

リズム、アクセントの基礎で扱う内容よりも、かなり詳細な説明を盛り込む。

フランス語の場合は音節の区切り方、リエゾンなどを扱う。

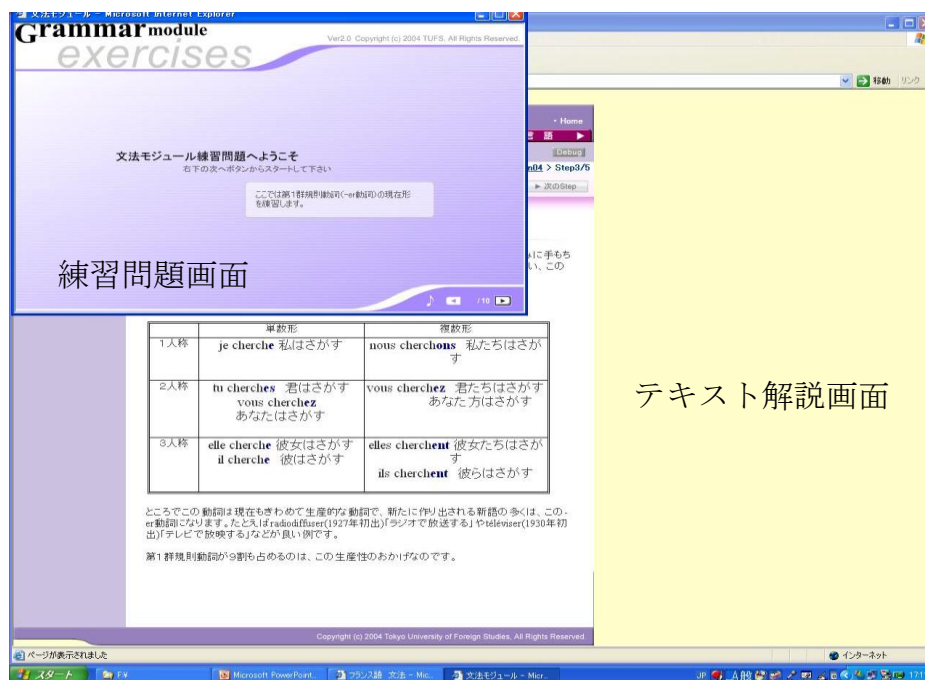
練習問題

発音モジュール「実践編」では、学習者が自習可能な範囲で練習問題が設けられていたが、「理論編」では大学授業でも扱えるような様々なバリエーションの練習問題を用意した。まず、「2. イントネーション、リズム、アクセントの基礎」では、イントネーションの上昇・下降を問う問題、音節数を答えさせる問題、「3. 個々の音の習得」では、ミニマルペアによる各音韻の聞き分け問題、発音と綴りを対応させる問題、「4. イントネーション、リズム、アクセントの応用」では、最終文字の読み方、有音、無音の“h”、エリジオン、リエゾン、アンシェヌマン、リズムグループとアクセント、“e”の読み方、イントネーションについての問題を扱う。

練習問題は、まとまった単元の説明が終わるごとにできるようにする。また、文法モジュールの練習問題のデザイン（次ページの図を参照）を利用して、練習問題はテキスト解説とは別の画面として表示できるようにする。これによって学習者は練習問題を独立したものとしてとらえることができ、また将来的にも練習問題の追加が容易になる。

最後に発音モジュール「理論編」のサンプルをあげておく。最初にも述べたように、本稿は「理論編」の第1版であり、内容は確定的なものではなく、今後のウェブ化の過程および試作版を教室などで利用する中で、より完全なものに改訂されるであろう。

⁵ フランス語の言語概説と音韻記述は以下に負うところが大きい。中田俊介、「フランス語」、『言語情報学研究報告4 通言語音声研究 音声概説・韻律分析』, 21世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」, 東京外国語大学大学院地域文化研究科, 2004, 181-199.



文法モジュールのテキスト解説画面と練習問題画面

4. 発音モジュール「理論編」サンプル

1. フランス語音声概説

1. 1 フランス語の使用地域と人口

フランス語話者の総人口約 9,000 万人のうち、およそ 7,000 万人がフランス語を母語とする人々である。残りの約 2,000 万人は、公用、商用など、より限られた場面において第二言語としてフランス語を用いている。これに外国語教育などにおいてフランス語が使用されている英国、ドイツ、米国といった国々（ここに日本も含まれる）での「外国語としてのフランス語」話者を加えた人口は、およそ 1 億 2,000 万人と推定され、日本語の話者人口に近い規模となる。

表 1. フランス語を母語あるいは第二言語とする世界諸地域と話者人口 (Cuq 1991)

フランス語を母語とする地域		フランス語を第二言語として用いる地域	
フランス	5,800 万人	アフリカ諸国	インド洋の島々
カナダ・ケベック州	600 万人	カナダ英語圏	ポリネシアの島々
ベルギー・ワロン地方	500 万人	ベルギーフラマン語圏	オセアニアの島々
スイス・ロマンド地方	160 万人	スイス他地域	東南・南アジア一部
イタリア・アオスタ渓谷	15 万人	アンチル諸島	米国の一部
モナコ	2 万人	中東の一部	南米の一部
合計 約 7,000 万人		合計 約 2,000 万人	

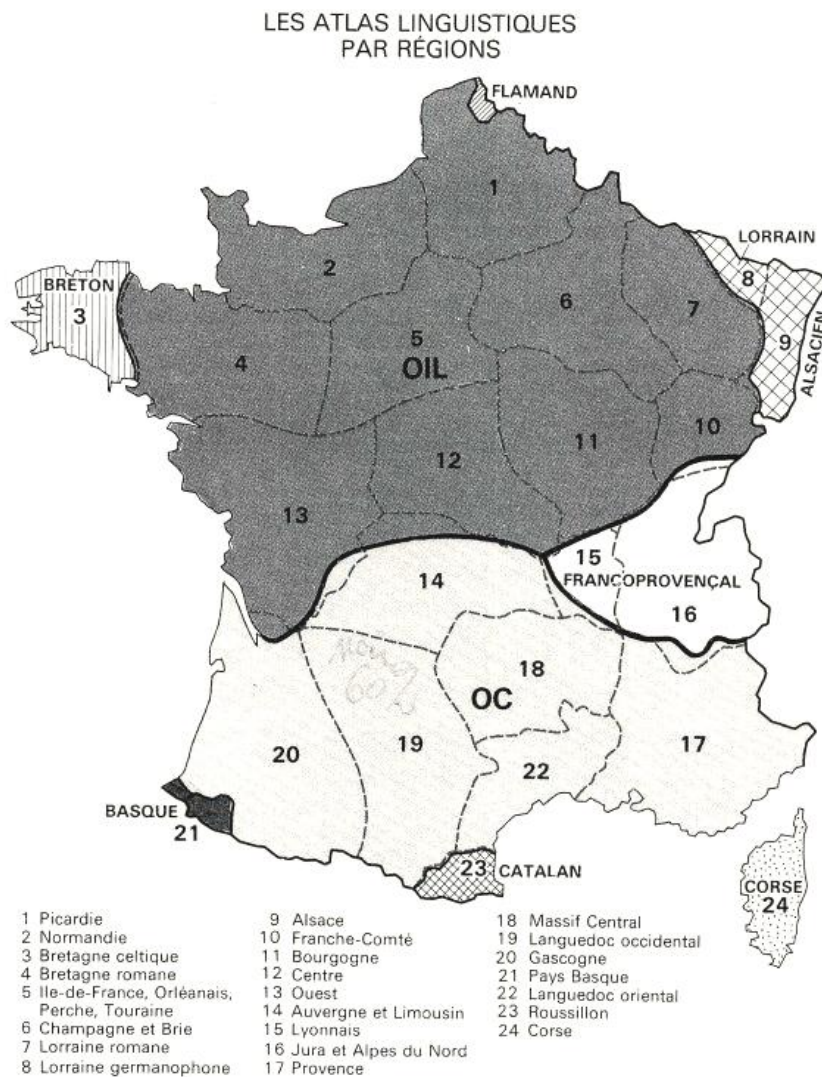
1. 2. 標準フランス語

André Martinet を中心とする音韻調査によって、現在パリのみならず各地方でその存在が確かめられている「標準フランス語」は、パリの言語規範が単に地方に拡大することで生まれたものではないということが明らかとなった。それはラジオやテレビの普及、あるいは人口移動によってパリのフランス語が地方へ、逆に地方のフランス語がパリへと流入し、相互に干渉し合いながら、平均化していく中で生み出された標準語である。

1. 3. フランス語の方言

フランス語は、話ことばのラテン語が先住民族のケルト人や、後に侵入してきたゲルマン人の影響を受けながら、独自の進化をとげつつ形成されたと考えられる。南フランスでは早くからローマ文化が受容され、話ことばのラテン語は書き言葉のラテン語に比較的近い形で保持された。これに対して北フランスでは、ゲルマン語などの影響によって話しことばのラテン語は独自の進化を遂げた。こうして少なくとも6-7世紀には、フランスは言語的に大きく南北に二分されたようである。中世には北部のフランス語はオイル語、南部はオック語と呼ばれ、二つの異なる言語として意識化された。また19世紀になると、イタリアの言語学者によって、オイル語とオック語の両方と言語特徴を共有する第3の言語、フランコプロヴァンス語の存在が提唱された。これらの3つの語圏はさらに、共通の特徴を持ついくつかの方言地域に分けられる。現在のフランスでは、標準フランス語の普及により、一部の地域を除いて方言は衰退の一途にある。

現在フランス国外で母語もしくは第二言語として話されているフランス語も、併用される他の言語の影響（例えばカナダでは英語、アフリカではアラビア語やベルベル語など）や言語的孤立（米国ルイジアナ州など）によってそれぞれ固有の特徴を持つに至り、現在も変化を続けている。

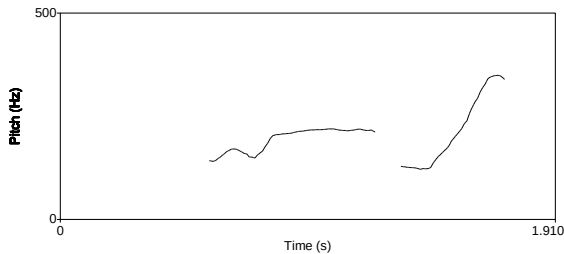


2. フランス語のイントネーション、リズム、アクセントをつかむ

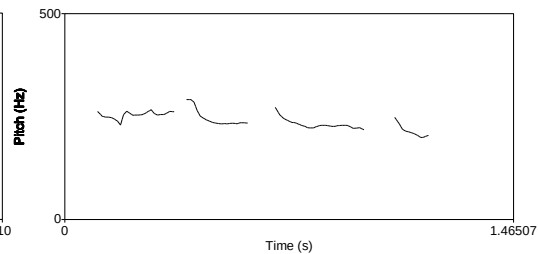
2. 1. イントネーション

発話の高さ(基本周波数)の変化を表す。フランス語のイントネーションには大まかに、上昇調のイントネーションと、下降調のイントネーションがある。

上昇調イントネーション 🗣️ 1



下降調イントネーション 🗣️ 2



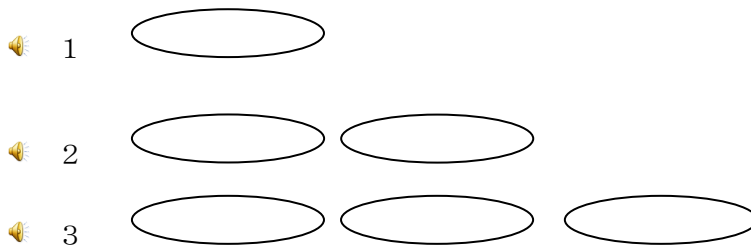
🗣️ 1 を押すと、会話モジュールの 01 1-1 Bonjour, ça va? 🗣️ 2 を押すと、会話モジュールの 01 8-1 D'accord, c'est gentil. が聞こえるようにする。

練習問題 2. 1. へ

(ページ終わり)

2. 2. リズムグループ

句や文などの意味的なまとまりをなす音節群のことをリズムグループという。フランス語は単語を発音の単位とするのではなく、このリズムグループを発音の単位とする。



また、リズムグループごとにイントネーションが上昇したり、下降したりする。基本的に疑問文の場合、最終リズムグループは上昇し、平叙文の場合、最終リズムグループは下降する。2つ以上リズムグループがある場合は、最終リズムグループの規則を当てはめ、他のリズムグループは上昇イントネーションをとる。

🗣️ 1 を押すと、2 10-2 Je ne sais pas encore. 🗣️ 2 を押すと 18 2-1 Si c'est vrai, pourquoi ils vendent ça ! 🗣️ 3 を押すと 5 8-1 Mon pauvre Vincent, t'as vraiment, vraiment pas de chance ! が流れるようにする。

2. 3. 音節

1 音節中には必ず 1 つの母音が含まれ、そこに子音が組み合わさり様々な音節パターンが生まれる。ここでの母音とは、発音上の母音のことであり、書かれたつづり字の母音とは関係ない。また、フランス語では各音節は大体同じ長さで発音される。母音で終わる音節を開音節といい、子音で終わるものを閉音節という。(以後 C は子音、V は母音をあらわすこととする)

例

開音節

音節構造 V eau
CCCV trois

閉音節

音節構造 VC il
CCCVCC strict

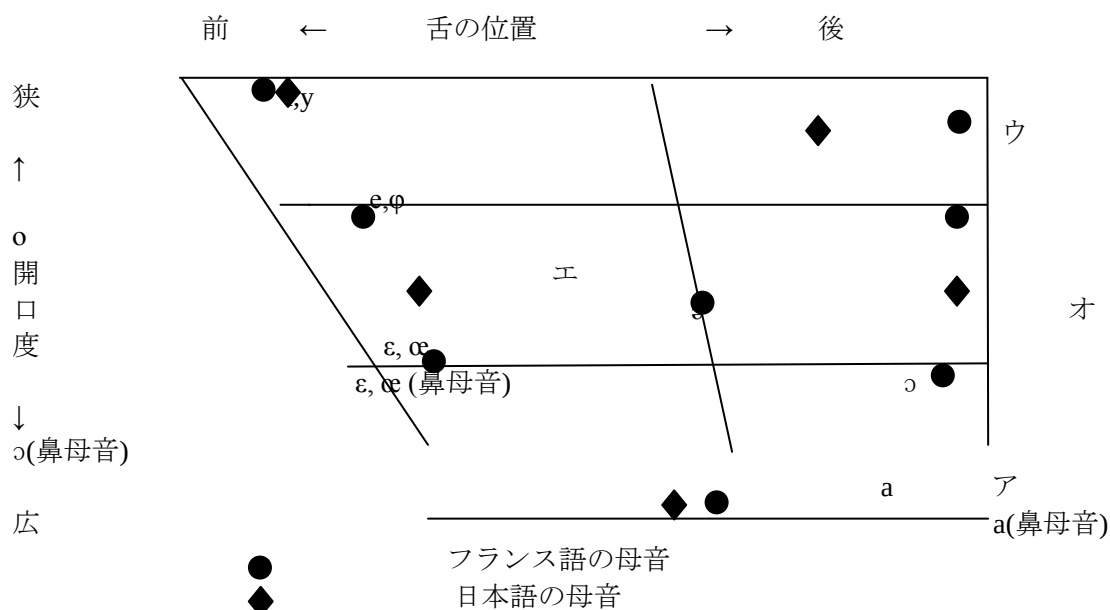
母音 1 つに対し 1 音節であるので、これらすべてが 1 音節ということになる。

練習問題 2. 3. へ

3. フランス語の個々の音の習得

3. 1. フランス語の母音

フランス語では最も多い場合、15 の異なる母音が聞かれることがある。15 個の中には、舌の前部を持ち上げてせばめを作って発音される前舌母音と、唇の丸みを伴う円唇母音が多く含まれていて、前舌性と円唇性がフランス語母音の大きな特徴となっている。



この表の個々の発音記号から、IPAへ直接リンクできるようにする。

3. 1. 1. [i]-[y]-[u] 狭母音

3. 1. 1. 1. 音の弁別, 発音方法

この3つの音は、音節がアクセントを担うか否か、開音節か閉音節かにかかわらず、常に対立が認められる音である。開口度が一番狭いという点が共通している。

[i] 唇を両側へ強く引き、舌を前方へ盛り上げるように。日本語のイよりも口の動きは横に大きく。

[y] [i]と同じ舌の形にして、唇を丸める。

[u] [i],[y]よりも舌を後方へ引き上げる。下の歯茎には舌先が付かないように。日本語のウよりも唇の丸めを強く。

練習問題 3. 1. 1. へ

赤の発音記号部分をクリックすると、IPAの画面下に出ている部分(口の形と調音方法が記述されているところ)が別枠で表示できるようにする。以下、全ての個々の音のパートで同じ構成にする。



青の部分をクリックすると練習問題へジャンプできるようにする。

3. 1. 1. 2. 綴りと発音の関係

フランス語の綴りは、ローマ字のように書かれたとおり読まれない。しかし、ある程度の規則性をもっている。[i] [y] [u]に関しては以下のとおりである。

[i] y (style [stil]様式, pays [pei]国), i (ici [isi]ここ, ami [ami]友達)

[y] u (tu [ty]あなた, une [yn]ひとつ(女性形)),

[u] ou (nous [nu]私たち, coup [ku]一撃)

練習問題 3. 1. 1. 2. へ

3. 1. 2. [e]-[ø]-[o] 半狭母音

3. 1. 2. 1. 音の弁別, 発音方法

この3つの音は、音節がアクセントを担うか否か、開音節か閉音節かにかかわらず、常に対立が認められる音である。開口度がやや狭いという点が共通している。

[e] 唇を両側に強く引き、舌を前方へ盛り上げてせばめを作る。[i] よりも少し口の開きを大きくする。日本語のエよりも狭めに発音する。

[ø] [e]と同じ舌の形にして、唇を丸める。

[o] [e],[ø]よりも舌を後方へ引き上げる。下の歯茎には舌先が付かないように。日本語のオよりも唇の丸めを強くする。

練習問題 3. 1. 2. 1. へ

3. 1. 2. 2. 綴りと発音の関係

[e] é, e+発音しない子音# (-er#, -ez#, -es#, -et#)=開音節での e

(été [ete]夏, thé [te]茶) (aller [ale]行く, voulez [vule]～したい(vous に続く形), des [de]～から)

[ø] 開音節での eu, 開音節での oeu

(bleu [blø]青い) (noeud[nø]結び目)

[o] 開音節での o, au, eau

(photo [foto]写真) (sauf [sof]～以外は) (beau [bo]美しい)

練習問題 3. 1. 2. 2. へ

3. 1. 3. [ɛ]-[œ]-[ɔ] 半広母音

3. 1. 3. 1. 音の弁別, 発音方法

この3つの音は、音節がアクセントを担うか否か、開音節か閉音節かにかかわらず、常に対立が認められる音である。開口度がやや広いという点が共通している。

[ɛ] 唇を両側へ引き、舌の前部を盛り上げる。[e]よりもさらに少し広く口を開く。日本語のエよりも広めに。

[œ] [ɛ]と同じ舌の形にして、唇を丸める。

[ɔ] [ɛ],[œ]よりも舌の後部をもち上げる。下の歯茎には舌先が付かないように。日本語のオよりも唇の丸めを強く。

練習問題 3. 1. 3. 1. へ

3. 1. 3. 2. 綴りと発音の関係

[ɛ] é 以外のアクセントの付いた e(=è,ê,ë), e+発音する子音(=閉音節の e),ai/ay, ei/ey
(mère [mɛʁ]母, fête [fɛt]祭り, Noël [noɛl]クリスマス), (avec [avɛk]～と一緒に, sel[sɛl]塩),
(paix [pɛ]平和), (peine[pɛn]苦しみ)

[œ] eu, oeu+ 発音する子音(=閉音節での eu)
(fleur [flœʁ]花, soeur [sœʁ]妹)

[ɔ] o+発音する子音(=閉音節での o)
(fort [fɔʁ]強い, col[kɔl]襟), pomme[pɔm]りんご)

練習問題 3. 1. 3. 2. へ

3. 1. 4. [a]-[ɑ] 開母音

3. 1. 4. 1. 音の弁別, 発音方法

1945 年に, André Martinet がすでに述べているように, 標準フランス語ではもはやこの 2 つの母音の区別を行わない。よって, ここでは[a]のみを標準フランス語とする。

[a] [œ]よりもさらに口を広く開ける。日本語のアに近い。

3. 1. 4. 2. 綴りと発音の関係

[a] a, a+アクセント記号
(pas [pa]歩み, patte[pat]足)

開母音は 1 つしかないので, 練習問題は省き, 音の弁別と綴りを同じページにおさめる。

3. 1. 5. [ɑ]-[ɔ]-[ɛ]-[œ] 鼻母音

3. 1. 5. 1. 音の弁別, 発音方法

鼻母音は, 発音の際に鼻腔からも息を出して発音する。ンと発音するのとは異なるので注意。鼻母音の[ɛ]-[œ]の対立は 1980 年あたりに消失したといわれている。よってここでは[ɑ]-[ɔ]-[ɛ]の 3 つの鼻母音について扱う。

[ɑ] 口を開き, 舌を後方に引き上げて, 鼻腔からも息を出す。日本語のアンに近いが, 異なるので注意。

[ɔ] [ɔ]よりも口を狭くして, 鼻腔からも息を出す。日本語のオンに近いが, 異なるので注意。

[ɛ] [ɛ]よりも少し口を開いて, 鼻腔からも息を出す。日本語のアンに近いが, 異なるので注意。

練習問題 3. 1. 5. 1. へ

3. 1. 5. 2. 綴りと発音の関係

- [ɑ] am/an, em/en
(angle [ɑgl]角度, enfant [ɑfa]子供)
[ɔ] on/om
(oncle [ɔkl]おじ)
[ɛ] im/in, yn, ym, aim/ain, eim/ein
(cinq [sek] 5, symbole [sɛbol]象徴, faim[fɛ]空腹な, teint [tɛ]顔の色)

3. 1. 6. [j]-[w]-[ʷ] 半母音

3. 1. 6. 1. 音の弁別, 発音方法

半母音は、舌が口蓋に近づき、その隙間から息がもれるときに聞こえる弱い摩擦音である。口蓋と接してしまうと子音になり、口蓋から離れすぎると母音になってしまうので、両者の中間に当たると考えてよい。後ろに母音を伴って発音される。

[j] [i]とは異なり、舌が口蓋に近づき摩擦する音が聞こえる。

[w] [u]とは異なり、舌が口蓋に近づくので摩擦の雑音が聞こえる。唇を充分前に突き出すように心がけること。

[ʷ] [y]の発音のように舌を前側に盛り上げつつ、唇を前に突き出すこと。

練習問題 3. 1. 6. 1. へ

3. 1. 6. 2. 綴りと発音の関係

- [j] 語頭の y, 母音+y+母音, i+母音, -il, -ill+母音
(yeux[jø] 目, payer[peje]払う, lier[lje] 束ねる, ail [aj] にんにく, fille [fij] 娘)
[w] ou+母音(=[u]+母音), oi/oy/, oin
(oui[wi] はい, moi[mwa] 私に, noyau[nwajo] 種, point[pwa]点)
[ʷ] u+i, y, e, a (=[y]+母音)
(lui [lʷi]彼に, tuyau [tʷijo]パイプ, buée[bʷe]水蒸気, dualité[dʷalite] 二重性)

練習問題 3. 1. 6. 2. へ

3. 1. 7. [e]-[ɛ] 狭い音-広い音

3. 1. 7. 1. 音の弁別, 発音方法

[e]と[ɛ]は、通常狭い音と広い音とが相補分布する。すなわち両者は前後の音環境によって、どちらか一方だけが現れ、両者が一緒に現れることはない。

アクセントが置かれない位置にある時

[e] 開音節のとき(ces [se] これらの) [ɛ] 閉音節のとき(sept [sɛt] 7)

アクセントを受ける位置

[e] 語末開音節で、[e]の綴りと発音の関係の規則にしたがっているもの
(épée [epe] 剣: éは[e]と読むので)

[ɛ] 語末開音節で、[ɛ]の綴りと発音の関係の規則にしたがっているもの
(épais [epe]) 厚い: 通常、開音節では狭い[e]をとるが、ai という綴り字は[ɛ]と読む規則があるので)

しかし、単純未来形と条件法現在の語尾(-rai,と-rais)では必ずしも対立は観察されない。また、les[le]とlait[lɛ]が対立するかどうかは話者による。

練習問題 3. 1. 7. 1. へ

3. 1. 8. [ɸ]-[œ] 狭い音, 広い音
3. 1. 8. 1. 音の弁別, 発音方法

[ɸ]と[œ]は, 通常狭い音と広い音とが相補分布を示す。

アクセントが置かれない位置にある時

[ɸ] 開音節のとき (jeu [ʒɸ] 遊び) [œ] 閉音節のとき (jeune [ʒœn])

アクセントを受ける位置

対立は語彙に限られるうえ, 使用頻度も低く, 消滅傾向にある。

例外として, [ɸ]は語末の[z]の前に位置する場合, 閉音節にも現れる。ふつう母音はこの場合, 若干長く発音される。(serveuse [sɛʁvɸːz] ウエイトレス)

練習問題 3. 1. 8. 1. へ

3. 1. 9. 狭い音, 広い音
3. 1. 9. 1. 音の弁別, 発音方法

[o]と[ɔ]は, 通常狭い音と広い音とが相補分布を示す。

[o] 開音節のとき (beau [bo] 美しい) [ɔ] 閉音節のとき (botte [bɔt] 長靴)

アクセントを受ける位置

[o] 語末閉音節で, [o]の綴りと発音の関係の規則にしたがっているもの
(saule [sol] 柳: 通常閉音節では[ɔ]をとるが, au は[o]と発音される。)

[ɔ] 語末閉音節で, [ɔ]の綴りと発音の関係の規則にしたがっているもの
(sol [sɔl] 地面)

例外的に, [o]が語末の[z]の前に位置する場合, 閉音節にも現れる。母音はこの場合, 若干長く発音される。(pose [poz] ポーズ)

練習問題 3. 1. 9. 1. へ

3. 2. フランス語の子音

フランス語では 17 の子音が用いられる。/j/を半母音ではなく, 子音として認める立場もある。使用頻度では, 雑音性の大きい無声子音 p,t,k の頻度が低く, 有声で共鳴性の高い r,l が多く現れるとの統計的報告がある。

	両唇	唇歯	歯 歯茎 後部歯茎	硬口蓋	軟口蓋	口蓋垂	喉頭	声門
破裂音	p b		t d		k g			
鼻音	m		n	ɲ				
ふるえ音								
はじき音								
摩擦音		f v	s z ʃ ʒ			ɣ		
側面摩擦音								
接近音								
側面接近音			l					

それぞれの子音をクリックすると I P A のページにリンクできるようにする。

3. 2. 1. [p]-[b] 両唇破裂音 3. 2. 1. 1. 音の弁別, 発音方法

両唇で空気をいったんせき止めてから, 呼気を破裂させる。日本語のパ行, バ行と変わらない。

[p] 両唇破裂音無声
[b] 両唇破裂音有声

赤文字のところをクリックすると I P A の音素ページが別枠で表示できるようにする。以下同様。

3. 2. 1. 2. 綴りと発音の関係

[p] p, pp
(papier [papje] 紙, appeler [aple] ~を呼ぶ)
[b] b, bb
(bébé [bebe] 赤ちゃん, abbé[abe] 神父)

3. 2. 2. [t]-[d] 歯茎破裂音 3. 2. 2. 1. 音の弁別, 発音方法

舌尖を上歯の裏の歯茎に接して息をいったんせきとめ, 呼気を軽く破裂させる。日本語のタテト, ダデドと変わらない。

[t] 歯茎破裂音無声
[d] 歯茎破裂音有声

3. 2. 2. 2. 綴りと発音の関係

[t] t, tt, th
(tabac [tava] たばこ, quitter [kite] ~と別れる, thé [te] お茶)
[d] d, dd
(dos [do] 背中, addition [adisjo] お勘定)

3. 2. 3. [k]-[g] 軟口蓋破裂音
3. 2. 3. 1. 音の弁別, 発音方法

舌の背と軟口蓋を接触させて、離れるときに呼気を破裂させる。日本語のカ行、ガ行と変わらない。

[k] 軟口蓋破裂音無声
[g] 軟口蓋破裂音有声

3. 2. 3. 2. 綴りと発音の関係

[k] c, qu/q, cc, ch, k, cq
(coca [koka] コカコーラ, attaque [atak] 攻撃, accuser [akyze] ～を非難する, écho [eko] こだま, kilo [kilo] キロ, acquisition [akizisjɔ] 習得)
[g] gu+e/i/y, g+a/o, gg
(blague [blag] 冗談, guide [gid] ガイド, Guy [gi] ギイ(男の名前), gaspiller [gaspije] 無駄遣いをする, frigo [fʁigo] 冷蔵庫, aggraver [agʁave] ～を悪化させる)

*注意すべき綴りと発音の関係

[ks] x, cc, -ction
(taxi [taksi] タクシー, accéder [aksede] ～に達する, éléction [eleksjɔ] 選挙)
[gz] x
(example [egzapl] 例)

3. 2. 4. [m]-[n]-[ɲ] 鼻音
3. 2. 4. 1. 音の弁別, 発音方法

[m] 両唇鼻音 両唇でいったん空気をせき止めてから、呼気を鼻からも出す。
[n] 歯茎鼻音 舌先を上歯の裏の歯茎に接して、呼気を鼻からも出す。
[ɲ] 硬口蓋鼻音 硬口蓋と舌の前部を接して、呼気を鼻からも出す。

練習問題 [m]-[n]-[ɲ] 1 へ

3. 2. 4. 2. 綴りと発音の関係

[m] m, mm
(ami [ami] 友達, immétiad [imedja] 即座の)
[n] n, nn
(nez [ne] 鼻, année [ane] 年)
[ɲ] gn
(digne [diɲ] ふさわしい)

練習問題 [m]-[n]-[ɲ] 2 へ

3. 2. 5. [f]-[v] 唇歯摩擦音
3. 2. 5. 1. 音の弁別, 発音方法

舌の唇の少し内側と上の歯先を軽く接して、そこから息をもらす。

[f] 唇歯摩擦音無声
[v] 唇歯摩擦音有声

練習問題 [f]-[v] 1 へ

3. 1. 5. 2. 綴りと発音の関係

[f] f, ff, ph

(femme [fam] 女性, effaser [efase] ～を消す, photo [foto] 写真)

[v] v

(vie [vi] 命)

練習問題 [f]-[v] 2 へ

3. 1. 6. [s]-[z] 歯茎摩擦音

3. 1. 6. 1. 音の弁別, 発音方法

舌先と上の歯茎で狭めを作り, 呼気をその間からもらす。日本語のサスセソ, ザズゼゾと変わらない。

[s] 歯茎摩擦音無声

[z] 歯茎摩擦音有声

3. 1. 6. 2. 綴りと発音の関係

[s] s, c+e/i/y, ç+o/a/u

(sale [sal] 汚い, ce [s] これ, ici [isi] ここ, cycle [sikl] 周期, façon [fasɔ̃] 方法, ça [sa] これ, déçu [desy] 失望した)

[z] s, z, x

(musique [myzik] 音楽, gaz [gaz] ガス, sixième [sizièm] 六番目の)

3. 1. 7. [ʃ]-[ʒ] 後部歯茎摩擦音

3. 1. 7. 1. 音の弁別, 発音方法

舌先と上歯茎の奥とで狭めをつくり, 呼気をその間からもらす。日本語のシュ, ジュとは異なるので注意。舌先と上歯茎の奥とをくっつけてはならない。

[ʃ] 後部歯茎摩擦音無声

[ʒ] 後部歯茎摩擦音有声

練習問題 [ʃ]-[ʒ] 1 へ

練習問題 [s]-[z]-[ʃ]-[ʒ] 1 へ

練習問題 [p]-[b]-[f]-[b] 1 へ

3. 1. 7. 2. 綴りと発音の関係

[ʃ] ch

(chat [ʃa] ねこ)

[ʒ] j, g+e/i/y, ge+a/o/u

(jouer [ʒwe] ～で遊ぶ, voyage [vwajaʒ], fragile [fʁaʒil] もろい, gymnastique [ʒimnastik] 体育, géant [ʒea] 巨人, bourgeois [buʁʒwa] ブルジョワ, voyageur [vwajaʒœʁ] 旅行者)

練習問題 [ʃ]-[ʒ] 2 へ

練習問題 [s]-[z]-[ʃ]-[ʒ] 2 へ

練習問題 [p]-[b]-[f]-[b] 2 へ

3. 1. 8. [ɸ]-[β] 口蓋垂摩擦音, 歯茎側面接近音

3. 1. 8. 1. 音の弁別, 発音方法

[ɥ] 口蓋垂と舌の奥を近づけ, その間から呼気を出す。日本語のラ行とは完全に異なるので注意。また, [g]と調音点が近く, 響きが似ているので注意。

[l] 舌先を歯茎に付け, その脇から呼気を出す。日本語のラ行とは異なるので, 注意。

練習問題 [ɥ]-[l]-[g] 1

3. 1. 8. 2. 綴りと発音の関係

[ɥ] r, rr
(rire [ʁiɥ] 笑う, arriver [aʁive] 到着する)

[l] l, ll
(lire [liʁ] 読む, aller [ale] 行く)

練習問題 [ɥ]-[l]-[g] 2

5. 「理論編」の練習問題サンプル

練習問題 2. 1.

問題番号をクリックして, 流れてきた音が上昇調イントネーションか下降調イントネーションかを選んでください。

	上昇調	下降調
1.	×	
2.		×
3.		×
4.	×	
5.		×
6.		×

問題は,

1. Tu aimes ça? (03 5-1) 2. C'est très simple. (21 5-1) 3. Je ne sais pas où je suis. (16 3-1) 4. Quoi? (29 1-1) 5. Si on allait au parc de Sceaux? (25 5-1) 6. Qu'est-ce que tu voulais me demander?

練習問題 2. 3.

問題番号をクリックして, 流れてきた音が何音節かを選んでください。

	●	● ●	● ● ●
1.		×	
2.			×
3.	×		
4.			×
5.		×	
6.	×		

問題は,

1. Qui sait? (40 3-1) 2. Ça dépend. (35 3-1) 3. oui? (31 2-1) 4. sans problème (2 7-1) 5. Quoi donc? (27 2-2) 6. Quoi? (29 1-1)

練習問題 3. 1. 1. 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[i]	[y]	[u]
1	×		
2			×
3		×	
4	×		
5		×	
6			×
7		×	
8			×
9	×		

以上のような表を表示し、流れてきた音に合う発音記号を選ぶ問題。

問題は、

1. lit 2. loup 3. lu 4. pli 5. plu 6. plou 7. nu 8. nous 9. ni

練習問題 3. 1. 1. 2.

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目	3 回目
1.	lit	×		
	lu			×
	loup		×	
2.	pli	×		
	plu		×	
	plou			×
3.	ni			×
	nu	×		
	nous		×	

練習問題 3. 1. 1. 1. と同じ音源で可能。流れてくる音と、実際の単語の表記とを対応させる問題。

練習問題 3. 1. 2. 1.

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[e]	[ø]	[o]
1	×		
2		×	
3			×
4		×	
5			×
6	×		
7			×
8		×	

問題は、

1. ses 2. ceux 3. saut 4. feu 5. faux 6. fée 7. peau 8. peu

練習問題 3. 1. 2. 2.

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目	3 回目
1.	ses	×		
	ceux		×	
	saut			×
2.	fée			×
	feu	×		
	faux		×	
3.	peu		×	
	peau	×		

練習問題 3. 1. 3. 1.

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[ɛ]	[œ]	[ɔ]
1			×
2	×		
3		×	
4		×	
5	×		
6			×
7			×
8		×	

問題は、

1. or 2. Eire 3. heur 4. leur 5. l'air 6. lors 7. off 8. oeuf

練習問題 3. 1. 3. 2.

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目	3 回目
1.	Eire		×	
	heur			×
	or	×		
2.	L'air		×	
	leur	×		
	lors			×
3.	oeuf		×	
	off	×		

練習問題 3. 1. 5. 1.

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[a]	[ɔ]	[ɛ]
1		×	
2			×
3	×		
4			×
5		×	
6	×		
7	×		
8		×	
9			×

問題は,

1. pont 2. pain 3. pan 4. bain 5. bon 6. banc 7. sang 8. son 9. sein

練習問題 3. 1. 5. 2.

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目	3 回目
1.	pan			×
	pont	×		
	pain		×	
2.	banc			×
	bon		×	
	bain	×		
3.	sang	×		
	son		×	
	sein			×

練習問題 3. 1. 6. 1.

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[j]	[w]	[ʍ]
1			×
2		×	
3		×	
4	×		
5	×		
6			×
7			×
8		×	

問題は,

1. huit 2. oui 3. noix 4. noyer 5. essayer 6. essuie 7. juin 8. joint

練習問題 3. 1. 6. 2.

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目
1.	oui		×
	huit	×	
2.	noyer		×
	noix	×	
3.	essuyer	×	
	essuie		×
4.	joint		×
	juin	×	

練習問題 3. 1. 7. 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[e]	[ɛ]
1		×
2	×	
3	×	
4		×
5		×
6	×	
7		×
8	×	

問題は,

1. fait 2. fée 3. ces 4. cette 5. nette 6. né 7. claire 8. clé

練習問題 3. 1. 8. 1.

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[ø]	[œ]
1		×
2	×	
3	×	
4		×
5		×
6	×	
7	×	
8		×

問題は,

1. peur 2. peu 3. ceux 4. seur 5. serveur 6. serveuse 7. rêveuse 8. rêveur

練習問題 3. 1. 9. 1.

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[o]	[ɔ]
1		×
2	×	
3	×	
4		×
5	×	
6		×
7		×
8	×	

問題は,

1. fort 2. faux 3. eau 4. or 5. côte 6. cote 7. pomme 8. paume

練習問題 [m]- [n]- [ɲ] 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[m]	[n]	[ɲ]
1			×
2		×	
3		×	
4			×
5	×		
6		×	
7			×
8		×	

問題は,

1. agneau 2. anneau 3. peine 4. peigne 5. mon 6. non 7. signe 8. chine

練習問題 [m]- [n]- [ɲ] 2

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目
1.	anneau		×
	agneau	×	
2.	peine	×	
	peigne		×
3.	mon	×	
	non		×
4.	chine		×
	signe	×	

練習問題 [f]-[v] 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[f]	[v]
1		×
2	×	
3	×	
4		×
5	×	
6		×
7	×	
8		×

問題は,

1. vous 2. fou 3. je fais 4. je vais 5. actif 6. active 7. sportif 8. sportive

練習問題 [f]-[v] 2

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1回目	2回目
1.	fou		×
	vous	×	
2.	je fais	×	
	je vais		×
3.	actif	×	
	active		×
4.	sportif	×	
	sportive		×

練習問題 [ʃ]-[ʒ] 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[ʃ]	[ʒ]
1		×
2	×	
3		×
4	×	
5	×	
6		×

問題は,

1. joue 2. chou 3. Ça jute 4. Ça choute 5. chapon 6. japon

練習問題 [ʃ]-[ʒ] 2

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目
1.	chou		×
	joue	×	
2.	ça chute		×
	ça jute	×	
3.	chapon	×	
	japon		×

練習問題 [s]-[z]-[ʃ]-[ʒ] 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[s]	[ʃ]	[z]	[ʒ]
1.			×	
2.				×
3.	×			
4.		×		
5.		×		
6.	×			
7.			×	
8.				×
9.			×	
10.				×
11.	×			
12.		×		

問題は、

1. bisou 2. bijou 3. c'est moi 4. chez moi 5. chic 6. sic 7. gaze 8. gage 9. asie 10. agit 11. assez
12. haché

練習問題 [s]-[z]-[ʃ]-[ʒ] 2

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
1.	c'est moi			×	
	chez moi				×
	bisou	×			
	bijou		×		
2.	sic		×		
	chic	×			
	gaze			×	
	gage				×
3.	assez			×	
	haché				×
	asie	×			
	agit		×		

練習問題 [p]-[b]-[f]-[v] 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[p]	[b]	[f]	[v]
1.				×
2.		×		
3.			×	
4.	×			
5.	×			
6.			×	
7.				×
8.		×		
9.		×		
10.				×
11.	×			
12.		×		

問題は 1. Il a vu 2. Il a bu 3. feu 4. peu 5. port 6. fort 7. veau 8. beau 9. bout 10. vous 11. épais 12. effet

練習問題 [p]-[b]-[f]-[v] 2

		1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
1.	feu			×	
	peu				×
	il a bu		×		
	il a vu	×			
2.	fort		×		
	port	×			
	beau			×	
	veau				×
3.	effet				×
	épais			×	
	bout	×			
	vous		×		

練習問題 [ɒ]-[ɒ]-[g] 1

問題番号をクリックして流れてきた音に合う発音記号にチェックしてください。

	[ɒ]	[ɒ]	[g]
1.	×		
2.			×
3.		×	
4.			×
5.		×	
6.	×		
7.		×	
8.	×		
9.			×

10.			×
11.		×	
12.	×		

問題は、

1. ris 2. gui 3. lit 4. gant 5. lent 6. rang 7. loche 8. roche 9. gauche 10. gare 11. l'are 12. rare

練習問題 [ʁ]-[l]-[g] 2

問題番号をクリックして、流れてくる単語の適切な順番にチェックしてください。

		1 回目	2 回目	3 回目
1.	ris	×		
	lit			×
	gui		×	
2.	rang			×
	lent		×	
	gant	×		
3.	roche		×	
	loche	×		
	gauche			×
4.	rare			×
	l'are		×	
	gare	×		

参考文献

阿南婦美代・GUIMBRETIERE, Elisabeth, 『コミュニケーションのためのフランス語発音法』, 駿河台出版社, 2001 年。

川口裕司, 芝野耕司, 峰岸真琴 (編), 『言語情報学研究報告 1 TUFSS 言語モジュール』, 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」, 東京外国語大学大学院地域文化研究科, 2004 年。

川口裕司, 森口恒一, 斎藤純男 (編), 『言語情報学研究報告 4 通言語音声研究 音声概説・韻律分析』, 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」, 東京外国語大学大学院地域文化研究科, 2004 年。

小島慶一, 『やさしいフランス語の発音』, 語研, 2002 年。

松本悦治監修・福田芳男著, 『アテネフランセフランス語の発音』, 早美出版, 2001 年。

吉富朝子, 根岸雅史, 海野多枝 (編), 『言語情報学研究報告 5 第二言語の教育・評価・習得』, 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」, 東京外国語大学大学院地域文化研究科, 2004 年。

ABRY, Dominique, CHALARON, Marie-Laure, *Phonétique 350 exercices*, HACHETTE. F.L.E., 1998.
CHARLIAC, Lucile, MOTRON, Annie-claude, *Phonétique progressive du Français avec 600 exercices*, CLE international, 2001.